

質問及び回答書

GOSAT 運用・研究用計算設備 一式

番号	質問対象書類	質問対象項目	質問内容	回答内容
1	仕様書	Ⅲ. 4. (3). f	意見書に対する回答で「本項目は削除する」となっていますが、記載が残っています。意見書の回答通り、本項目は削除でよいでしょうか。	ご質問の点については、削除漏れであることを確認しましたので、仕様書等を修正しました。
2	仕様書	Ⅲ. 3. 2. (11)	紙媒体及び電子媒体で各2部ずつ提出することとなっていますが、Ⅲ. 4. (1)と同様に電子媒体で2部としていただけないでしょうか。	本業務実施に当たり、ご質問の点は許容可能です。認識齟齬の生じないよう仕様書等を修正しました。
3	その他	総合評価基準 Ⅲ. 7	総合評価基準 Ⅲ. 7に「組織のワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等取得状況」という項目がありますが、仕様書に記載がありません。仕様書に本項目の記載が抜けているという解釈でよいでしょうか。	一般競争入札（総合評価落札方式）では提案書等提出者を評価するために評価基準を設けておりますが、お示しの項目含め、提案書等の評価時には、仕様書に記載の項目以外の観点でも評価を行っており、ご質問の件については仕様書の記載漏れではありません。
4	仕様書	Ⅱ. 5. 5. (4)	本項は各計算ノードあるいは各ログインノードから共有ファイルシステムに対する書き込み速度要件と解釈しています。ご要件としては20GB/sとなっていますが、ノード当たり性能としては5. 4. 計算ノード間ネットワーク（ノード当たり100Gbps以上）部分に律速されます。よって、本項における要件としては100Gbpsで実現可能な9GB/sに変更させていただけないでしょうか。	ご質問の点について、要件の矛盾を確認しましたので、仕様書等を修正しました。
5	仕様書	Ⅱ. 4. 3 Ⅱ. 5. 8. (2)	機器管理ネットワークのアップリンクをコアスイッチに接続するのはどのような目的のためでしょうか。WebポータルはGOCFスイッチを介してシステム外部に公開する想定です。	本システムを接続するネットワークはGOCFスイッチから直接最上流のUTMへ接続するのではなく、コアスイッチを介して接続することをポリシーとしています。
6	仕様書	Ⅱ. 5. 11.	「停電を検知し、人の操作を関することなく、本システム全体の安全な自動停止が可能なこと」という要件がありますが、Ⅱ. 5. 10. (4)の要件では計算ノードはUPS装置から給電しないこととなっています。「計算ノードを除く本システム全体の安全な自動停止が可能なこと」と要件を変更いただけないでしょうか。	ご質問の点について、要件の矛盾を確認しましたので、仕様書等を修正しました。
7	仕様書	Ⅱ. 5. 6. (15)f.	5. 5. に示す共有ファイルシステムまたは5. 7. (4)に示す管理サーバ群共有ファイルシステムと物理的に一体化された構成も許容いただけないでしょうか。ログインノード群共有ファイルシステムと共有ファイルシステムを物理的に一体化された構成とし、管理サーバ群共有ファイルシステムのみ別の構成とする提案を許容いただきたいです。	本業務実施に当たり、ご質問の点は許容可能です。認識齟齬の生じないよう仕様書等を修正しました。
8	仕様書	Ⅱ. 5. 7. (4)d.	5. 5. に示す共有ファイルシステムまたは5. 6. (15)に示すログインノード群共有ファイルシステムと物理的に一体化された構成も許容いただけないでしょうか。	本業務実施に当たり、ご質問の点は許容可能です。認識齟齬の生じないよう仕様書等を修正しました。
9	仕様書	Ⅱ. 5. 8. (1)	機器管理ネットワークへの接続について、機器が有する管理ポート（サーバであれば、BMC、iDRAC、iLO等と呼ばれるポート）の他に各機器に搭載される管理用のネットワークインタフェース（管理用LANポート）も必要数接続する構成としてもよいでしょうか。	本質問は、同一のサーバが複数の管理用ネットワークインタフェースを有するという意味ではなく、例えばサーバは管理ポート、スイッチは管理用LANポートを有しており、それらを同じ管理スイッチに接続してもよいかという質問と解釈し、回答します。上記のような接続の混在は問題ありません。また、計算ノードと共有ファイルシステムに関して、管理目的で管理ポート以外でのアクセスが必要な場合は、計算ノード間ネットワークを介してアクセスすることを想定します。
10	仕様書	Ⅱ. 5. 9. (3)	Ⅱ. 5. 6. (15)f.およびⅡ. 5. 7. (4)d.に記載の通り、Ⅱ. 5. 5. 共有ファイルシステムと物理的に一体化されたファイルシステムを採用する場合はGOCF スイッチに接続するための25Gbps 以上のEthernet ポートは必要ない認識です。よって、本項についてもⅡ. 5. 5. 共有ファイルシステムと物理的に一体化されたファイルシステムを採用する場合はログインノード群共有ファイルシステムのEthernetポートは収容する必要はないと解釈してよいでしょうか。	ご認識の通りです。また、仕様書等の文言について、認識齟齬が生じないよう修正しました。
11	仕様書	Ⅱ. 5. 6. (12) Ⅱ. 5. 7. (2) j	「SNMPv2c 及びv3 に対応し」とありますが、サーバ管理用のネットワークポート（BMC）においてはv2cがサポートされていない製品が多くあります。製品選定の幅を広げるためにv2cまたはv3とさせていただけないでしょうか。	本業務実施に当たり、ご質問の点は許容可能です。認識齟齬の生じないよう仕様書等を修正しました。
12	仕様書	Ⅱ. 5. 8. (3)g Ⅱ. 5. 9. (6)g	管理用端末のネットワークスイッチ接続について確認させていただきます。各管理用端末はNICを1つ有し、機器管理ネットワークスイッチもしくはGOCFスイッチのどちらか一方に接続するという解釈で合っているでしょうか。（管理用端末1台あたりNICを2つ有し、同時に2つのスイッチに接続するというようなことはないという解釈で合っているでしょうか。）	各管理用端末はNICを1つ有し、機器管理ネットワークスイッチもしくはGOCFスイッチのどちらか一方に接続するという解釈で正しいです。
13	仕様書	Ⅱ. 6. 11. (1)c	本項目の「アカウント付随情報」は、ログインシェル、ホームディレクトリの2種類の情報を想定していますが、認識違いはないでしょうか。	その認識で相違ありません。
14	その他	性能評価試験基準 P. 4 計算ノードの単体性能 ＜試験1-1および1-2＞HPL(9) ＜試験2-1および2-2＞HPCG(9)	試験1-2、試験2-2としてCPUベンダーが提供する最適化されたバイナリによる測定結果を示すことを許可して頂けますでしょうか。	問題ありません。その場合、最適化されたソースコードについては提出物に含めなくても結構です。
15	その他	性能評価試験基準 P. 5 複数計算ノードの性能 ＜試験4-1および4-2＞HPL(3) ＜試験5-1および5-2＞HPCG(3)	試験4-2、試験5-2としてCPUベンダーが提供する最適化されたバイナリによる測定結果を示すことを許可して頂けますでしょうか。	問題ありません。その場合、最適化されたソースコードについては提出物に含めなくても結構です。
15	その他	性能評価試験 P. 7 計算ノード間ネットワークの性能 ＜試験7-1および7-2＞Intel MPI Benchmark(6)	試験7-1において、256MiBの転送サイズを指定する際に「-msglog」オプションを使用してよろしいでしょうか。例）\$ mpirun -np 2 -ppn 1 1MB-MPI1 PingPong -msglog 28:28	問題ありません。
16	仕様書	Ⅱ. 6. 6. (8)	JIS X 3014:2003 の後継規格を満たすことで、JIS X 3014:2003 規格を準拠しているとみなしてよいでしょうか。JIS X 3014:2003 規格が古く、準拠している証明が難しいためです。	本業務実施に当たり、ご質問の点は許容可能です。準拠すべき標準規格をISO/IEC 14882:2011として仕様書等を修正しました。